

非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉
〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
URL・http://homepage3.nifty.com/hikakuosaka/
E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
hikaku-osaka1986@nifty.com

第168号 2015年7月1日

ニュース

核兵器

人類の存続と文明への

最大の危険

国連加盟国の大多数は「緊急廃絶」を認識

最大の危険



△大阪の仲間とニューヨーク・パレード (左二人目筆者)

姿や、手押し親と手をつなぎながら必死に歩く幼児の姿や、手押し

およそ一万人の人々が参加して行われまし

た。二三歳から三〇歳までが四名、五〇代から六〇代が七名、とりわけ二四歳の紅一点がまぶしく輝く多彩な仲間たちでした。N・Y

行動の目的の一つは、地元ユニオン・スクエアで世界各国から集まった市民社会グループ・NGOによって開催された「核兵器のない世界のための国際行動デー」の集会和、引き続き行われた国連ハマーシールド広場へ向けての核兵器廃絶パレードへの参加でした。

もう一つは、「核兵器全面禁止のアピール署名」を国連に届け、さらにニューヨーク市民にも署名を訴える活動をするつもりでした。パレードは、約一時間半かけて、

親と手をつなぎながら必死に歩く幼児の姿や、手押し

NDPT 再検討会議・ニューヨーク行動に 参加して

第九回NDPT再検討会議に向けて、日本原水協代表団の一員として、当会から派遣されニューヨーク行動に参加してきました。代表団は、参加団体ごとに班編成をして、班を基本として行動しました。私の班は、各団体に属さない少数グループで構成されていま

た。二三歳から三〇歳までが四名、五〇代から六〇代が七名、とりわけ二四歳の紅一点がまぶしく輝く多彩な仲間たちでした。N・Y

行動の目的の一つは、地元ユニオン・スクエアで世界各国から集まった市民社会グループ・NGOによって開催された「核兵器のない世界のための国際行動デー」の集会和、引き続き行われた国連ハマーシールド広場へ向けての核兵器廃絶パレードへの参加でした。

もう一つは、「核兵器全面禁止のアピール署名」を国連に届け、さらにニューヨーク市民にも署名を訴える活動をするつもりでした。パレードは、約一時間半かけて、

車にもたれながらも、家族一団の中で行進する老婦人の姿に感動しました。ハマーシールド広場では、国連に引き渡される六三三万余名の署名が詰まった段ボール箱がうず高く積み重ねられていて、この署名を受け取るに際して、国連軍縮担当上級代表のアンゲラ・ケインさんは、次のように述べました。「圧倒的多数の国連加盟国は、核兵器の存在こそが人類と文明の存続への最大の危険であり、緊急に廃絶に取り組まなければならないという確信を再確認しています。一部にはなお核抑止力こそが国家安全保障の中心的柱であるとの強い信念が残っています。しかし、意図的であれ偶発的であれ、核兵器が絶対に使われない保証はありません。国際安全保障の捉え方を変えるために啓発された世界的な指導性が必要です。市民社会の力はこの変化の追及にとって私たちの最大の資産の一つです。国連を代表し、私はみなさんの

署名を謙虚な気持ちでお受け取りします。署名された一人ひとりの方に心から感謝します。」このメッセージを通して、N・Yへ来たことの意義を感じ取りました。再検討会議は、米、英、加などの国が反対し、最終合意には至りませんでした。核兵器廃絶を求める国際世論は、圧倒的多数となつています。反対した彼らは、国際社会から確実に追い詰められています。私たち市民社会グループの存在が、彼らを変えさせ得る大きな力になつていくことを学んだN・Y行動でした。私をN・Yへ送り出していただいた会員はじめ関係者の方々、ありがとうございました。(事務局 牛山一雄)

- 【非核五項目】
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争阻止、核兵器廃絶の実現を求める
 - ② 国是とされる非核三原則を厳守する
 - ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を防止する
 - ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
 - ⑤ 原水爆禁止世界大会の、これまで都合にもとづいて国際連帯を強化する



スおおさか
換骨奪胎したピー

「ピースおおさか」が
四月末にリニューアル
オープンした

展示内容で撤去されたものは、「大陸への侵略」「朝鮮の植民地化」などの説明パネルや南京大虐殺、捕虜虐待など日本軍の加害行為にかかわる写真・資料のすべてであり、従軍慰安婦の言葉はない。結果は維新の会の主張を丸呑みしたものとなった。

あらたに付け加えられたのは「世界中が戦争をしていた時代」(Bゾーン)という展示である。戦争の悲惨さや数千万人にのぼる犠牲者の拡大を「戦車や飛行機などの近代兵器

の開発」に求め、「やむをえなかった」自然災害のように印象づけることで戦争をしかけた側の責任を隠す役割を果たし、加害行為を示すの撤去と表裏をなしている。「世界中が戦争をしていた時代」などの認識は、安倍内閣が進めている「戦争立法」の尖兵の役割を果たすことにつながる。

消せなかった史実

しかし、設立当時から幅広い府・市民の声や二〇年余のピースおおさか自体の研究成果などを反映し、また史実としても削除したり歪めたりできなかった展示がある。

「軍都」大阪を代表する「大阪砲兵工廠」は、中国やアジア・太平洋地域での侵略戦争推進のための日本軍の巨大な武器製造工場で、一六万㎡の広大な敷地、工員六万八〇〇〇人で大砲などの大型兵器などを製造し続けた東洋一の武器庫だった



▲「靖国神社第2鳥居」は戦火をくぐり抜けたこの鳥居も大阪砲兵工廠で作られた

室」である。「ピースおおさか」が作られた後にも設立理念に賛同した府民・市民から寄贈された収蔵品(軍隊手帳、戦時中の衣料切符や行李などを含む)は九〇〇〇点にも及んでいる。設立と同じように運営も住民サイドの視点から行われ、幅広い識者・研究者・市民団体の賛同を得て進められて来た。ところがリニューアルを機に財団法人ピースおおさかを公益財団法人ピース

が削除できなかった。中国各地に赴いた大阪に関係する陸軍師団(第三四師団など)の行動が新たに追加された。東住吉田辺に落とされた模擬原爆はピースおおさか設立後の研究成果の一つで、地元

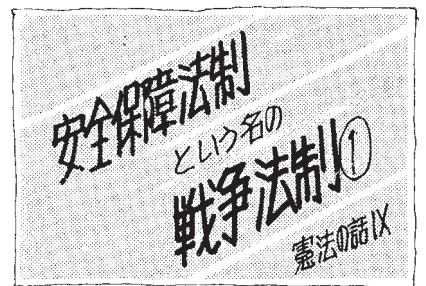
設置理念の無視、非民主的運営

「ピースおおさか」の前身は、府下各地で開催された「平和のための戦争展」や戦争はごめんという草の根の力が集約された「大阪府平和祈念戦争資料

を公益財団法人ピースおおさかに変え、平和研究所や運営協力懇談会を突然一方的に解散し、それまで運営に貢献していた人々の意見が反映しにくい仕組みを作り上げてしまった。

(平和問題研究家

長尾正典)



安倍首相は、二〇一五年四月二十九日、アメリカ議会で演説し、対米軍事協力の法制を、秋までに仕上げる約束しました。未だ国会にも提案していないものを、です。この、国会無視の安請け合いは、それ自身が憲法違反として強く批判されなくてはなりません。ここでは、内容を取り上げます。

五月一五日、安倍内閣は、「我が国及び国際社会の平和及び安全の確保に資するため、自衛隊法等の一部を改正する法律(平和安全保障法)」と「国際平和共同対処事態に際して我が国が実施する諸外国の軍隊等に対する協

力支援活動等に関する法律(国際支援法)」という法案を国会に提出しました。これはもはや、「集団的自衛権」をも超えた戦争法制で、「憲法の話」シリーズでも、「集団的自衛権を考える」というテーマとは別の表題を立てた次第です。

あまりにも矢継ぎ早に憲法無視の政策と政治行動がとられるため、じっくりとシリーズで問題を掘り下げることにもままならず、困ったものです。

愚痴はさておき、この戦争法制が憲法違反であることは、国会の場で、アッサリと結論がついてしまいましたが、六月四日、国会に招致された憲法学者三人が、口をそろえて、この法制が憲法に違反すると証言したのです。それも、与党推薦の学者までもが。

当たり前と言えば当たり前前のことですが。(七ページに続く)

2015年度 各自治体

非核・平和 施策紹介



毎年各自治体で実施される非核平和施策を紹介... 福島原発事故被災者関係... ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難者は何人おられますか... ②福島原発事故被災・避難者に対する対応

Table with 4 columns: 自治体 (Municipality), 今年度の非核平和施策 (This year's non-nuclear peace policies), NPT再検討会議に関連する施策や内容 (Policies related to the NPT review conference), and 福島原発事故被災者関係 (Fukushima nuclear accident victims). Rows include: 自治体, 大阪府, 大阪市, 能勢町, 豊能町, 箕面市, 池田市, 茨木市, 高槻市, 島本町, 豊中市.



<p>自治体</p>	<p>今年度の非核平和施策 ①戦後・被爆70年の節目の年としての「非核・平和施策」 ②児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策 ③今年度の予算額</p>	<p>NPT再検討会議に関連する施策や内容①平和首長会議呼びかけの署名への取り組み②NPT再検討会議へ市長や住民代表等の参加状況③NPT再検討会議成功に向けての施策・取り組み</p>	<p>福島原発事故被災者関係 ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難者は何人おられますか ②福島原発事故被災・避難者に対する対応</p>
<p>吹田市</p>	<p>①主催事業に「戦後70年」の冠をつける。事業内容を戦後70年を意識したものとする。 ②小・中学生への啓蒙では人権と平和をテーマにした「じんけん作品」の募集、市民平和のつどい、非核平和資料展「声なき証人～戦争遺跡が伝えること～」パネル展及び市民から寄贈された戦時中の生活用品や軍隊に関する資料の展示8/1～8/6、「落語と浪曲のタベ～古典が伝える平和へのメッセージ～」(仮題)8/5、平和祈念資料館の管理運営 市民から提供された戦時中の生活用品や軍隊に関する現物資料等の常設展示及び平和に関する資料の収集と貸出し、平和映画会の開催、その他平和に関するイベント、平和祈念資料館企画展、「心で感じる『ヒロシマ』～8月6日の記憶」7/28～8/16 ③37,359,000円</p>	<p>①特になし ②特になし(なお、吹田市職員労働組合より3名が参加) ③特になし</p>	<p>①24世帯68名 ②ボランティア団体と連携し、交流会の開催や情報提供を実施</p>
<p>摂津市</p>	<p>①7、8月を平和月間と定め各種事業の実施 ・被爆ピアノコンサート、平和パネル展、市内公共施設における映画会等 ・平和黙とうの実施、広島・長崎への記念式典への派遣(隔年)他②平和行進の受入等の支援、平和行進団体の激励、メッセージ③731千円(平和施策推進事業)</p>	<p>①していない ②考えていない ③取り組みなし</p>	<p>①不明 ②対応していない</p>
<p>枚方市</p>	<p>①平和や原爆をテーマにしたパネル展、語り部による講演会、人形劇や朗読、非核平和映画会、紙芝居、コンサート等のイベント開催、沖縄戦に関するパネル展、②※枚方市では啓蒙活動という表現は使用せず、啓蒙活動として実施。10月 市内戦跡バスツアー、3月 枚方市平和の日記念事業(「平和の燈火」「平和メッセージ発信事業」等)※その他、住民団体や学校単位で希望があれば、戦争遺跡等の見学説明会を随時開催 ③11,146,000円</p>	<p>①「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動は、署名行動そのものが個人(市民)の自主性によるものであることから、市として署名の呼びかけなどの取り組みは行っていない②③なし</p>	<p>①把握していない ②福島原発事故による被災・避難者かどうかに関わらず、東日本大震災による被災・避難者に対する対応として、被災地支援事業や市税・保育料の減免等の対応を行っている。</p>
<p>寝屋川市</p>	<p>② a)恒久平和を願う市民のつどい 7/11(寝屋川市立中央公民館講堂)平和に関する講演会 講師:鳥越俊太郎さん テーマ「ニュースの職人が考える戦争と平和」、平和のバラ写真展示、原爆・戦争パネル展示 ・戦中食「すいとん」試食コーナー、7/14恒久平和の折紙、市民の皆様から平和の折鶴を募集し、寄せられた折鶴を恒久平和を願う千羽鶴にし、市内平和の塔にささげる。B)平和のバラ苗木配布12/6(寝屋川市立総合センター1階) 平和のバラを育てることにより、幸福と恒久平和を再認識するために、希望する市民に抽選でバラの苗木を配布、C)親と子の平和バスツアー8/初旬日帰り(参加者:小学生以上の親子)舞鶴引揚記念館、d)平和行進 7月(2回)本庁玄関前 平和関係団体来庁予定 あいさつ、お茶の接待等e)黙祷(庁内放送) 寝屋川市民等来庁者に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙祷の呼びかけ③恒久平和を願う市民のつどい①1071千円②25千円 平和のバラ苗木配布202千円親と子の平和バスツアー4千円 平和行進4千円</p>	<p>①現在のところ取り組んでいない ②現在のところ考えていない ③非核平和都市宣言に基づき、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現をめざして、各自自治体と協力し、核兵器廃絶運動に粘り強く取り組んでいくことが重要であると考えている。</p>	<p>①5世帯 ②大阪府からのメールによる情報提供(復興プレス、福島のいま)の新聞の送付(危機管理室より)</p> 
<p>交野市</p>	<p>①未定 ②平和祈念式典(10月予定) 平和の鐘打鐘(市内寺院の協力により)8/6、8/9実施予定) ③300,000円</p>	<p>①現在のところ取り組んでいない ②首長、住民代表とも参加は予定していない③なし</p>	<p>①8人②大阪府弁護士会による支援として、定期便誌の送付</p>
<p>守口市</p>	<p>①平和のつどい(8/7)②平和のつどい(講演会・アニメ映画)8/7③市予算4万2千円</p>	<p>①検討中、まだ取り組んでいない②考えていない③未定</p>	<p>①把握していない②把握していない</p>
<p>門真市</p>	<p>①平和に関する映画会・パネル展示会の実施(予定)②①平和に関する映画会・パネル展示会の実施(予定)②小・中学生への啓蒙活動や施策 (1)「社会科」の授業における戦争や平和に関する学習や「特別活動」における実地学習並びに「道徳の時間」「総合的な学習の時間」等における国際理解教育を全小・中学校において進めている。③草の根運動への後援 2015ピースフェスタ門真(ピースフェスタ門真実行委員会)③33,000円(担当課の総額)</p>	<p>①現在のところ取り組みなし②予定なし③未定</p>	<p>①把握していない ②大阪府や大阪府下避難者支援団体等連絡協議会からの情報提供</p>
<p>四條畷市</p>	<p>②「平和・人権展」(8/7～8)語りつごう平和の大切さ ・平和人権パネル展 ・子ども平和展(遊び、学習コーナー)・戦中食試食会・平和映画会・平和行進、平和の火のり受入れ③362,000円</p>	<p>①取り組んでいない②考えていない③取り組んでいない</p>	<p>①把握していない ②対応していない</p>
<p>大東市</p>	<p>①未定 ②・折り鶴コーナーの設置・千羽鶴の作成、・戦跡を巡る平和バスツアー、・ヒロシマ記者事業、・広報誌や防災無線を使って、広島・長崎の原爆投下時間に黙祷、・平和パネル展、・親と子で平和を考えるつどい③733千円</p>	<p>①特になし②参加していない ③特になし</p>	<p>①当初2世帯5名が避難、1世帯2名(住民票移動)、1世帯3名(住民票移動なし) ②特になし</p>
<p>東大阪市</p>	<p>①平和の尊さを次代に語り継ぐため、児童、生徒等の参加が見込める夏休み期間に東大阪市平和のつどい等、平和事業を開催する。また日本非核宣言自治体協議会総会への参加や平和首長会議関係団体と連携し、平和を脅かす核兵器の廃絶を訴える。②8月アニメフェスタ、平和資料展、平和パネル展、原爆被害者の体験講話などを実施③平和行事経費 1,2054千円</p>	<p>①現時点で署名活動を行っていないが今後の平和事業等で検討②2015年の参加(市長・住民代表)は現時点で行っていない。東大阪市職員労働組合NPT再検討会議への代表団が参加③東大阪市職員労働組合NPT再検討会議への代表団に対し、副市長メッセージを送った。</p>	<p>①大阪府が把握 ②水道料金の免除、被災地からの便りの郵送</p>
<p>八尾市</p>	<p>①(仮称)戦後70年八尾市非核・平和啓蒙事業「平和のつどい」 ②長崎被爆体験講話 市内小中学校16校で実施(7月)「平和のつどい」(8月)懸垂幕の設置(8月)黙とうの実施(8月)公用車に平和啓蒙のマグネットシートを貼付(8月)戦争遺跡めぐり(未定)③2,909千円</p>	<p>①平和のつどいで「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める署名コーナーを設置、参加者に呼びかけ②参加していない ③日本非核宣言自治体協議会や平和首長会議のもとに他都市と連携して取り組む。</p>	<p>①31名(推定)②・大阪府下避難者支援団体等連絡協議会からの定期便等、・東日本大震災において災害救助法の適用となった地域や福島第一・第二原子力発電所事故に伴う内閣総理大臣による住民の退避指示等の対象となった地域等において避難を余儀なくされた世帯の代表者に対し、世帯構成員1人当たりについて5万円の支給を行った</p>
<p>柏原市</p>	<p>①平和展の展示に工夫を行う②「柏原市平和展」の開催(8/8～10)・柏原市市内全域で8月15日に終戦記念日の黙祷、関係機関から送付されたポスター・チラシ等を市内各施設に掲示、・反戦、非核・平和に関するビデオなどの視聴覚教材の貸出し、市内公立保育園と幼稚園の園児による平和メッセージカードの作成(柏原市平和展に展示) ・平和行進への協力③1,357千円</p>	<p>①平成22年9月より平和首長会議に加盟し、連動した活動を行っている②市長及びNPOの参加は考えていない③特に具体的な取り組みはなし</p>	<p>①なし②なし</p>

自治体	<p>今年度の非核平和施策 ①戦後・被爆70年の節目の年としての「非核・平和施策」 ②児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策 ③今年度の予算額</p>	<p>NPT再検討会議に関連する 施策や内容①平和首長会議呼 びかけの署名への取り組み② NPT再検討会議へ市長や住 民代表等の参加状況③NPT 再検討会議成功に向けての施 策・取り組み</p>	<p>福島原発事故被災者関係 ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難 者は何人おられますか ②福島原発事故被災・避難者に対する対応</p>
松原市	<p>②平成27年度非核平和展8/3～8/7(はーとビュー)パネル展示(大阪国際平和センター 所蔵、広島平和記念資料館所蔵)・ふるさとびあプラザ所蔵資料の企画展示・体験コー ナー、折鶴コーナー、昔のおもちづくり、大型布製紙芝居、玄米つき・上映コーナー (戦争関係のDVD等の上映)・読書コーナー(平和関連の図書や絵本)・ご意見コー ナー・啓発物品の配布 ③673千円</p>	<p>①なし ②現時点でなし ③なし</p>	<p>①20人 ②資金援助:福祉総務課による生活保護の支 給、住宅支援:まちづくり推進課による市営住宅 の紹介</p>
藤井寺市	<p>①平和展の開催(8月)②広報紙(8月号)にて平和特集記事を掲載③市内人権団 体に、人権啓発事業・平和事業等の事業補助金を交付128万円</p>	<p>①毎年8月に開催している平和 展会場で署名コーナー設置</p>	
羽曳野市	<p>①「終戦70年羽曳野市特別平和展」の開催・広島平和祈念資料館より借用の「ヒロシ マ・ナガサキ原爆写真パネル」の展示・小学生平和ポスターの展示、一般公募絵画の 展示、一般公募写真の展示、戦時品200点の展示・戦時中の食「すいとん」の体験(5 00食)・戦争体験語りの実施・広島の被爆アオギリ二世及び長崎の被爆クソノキ二世 の植樹・広島平和記念資料館より借用のアニメ等の上映 図書館にて平和図書コー ナーの設置・平和の願いを込めたハートの風船の配布 2015年羽曳野市ピースア ピールの発表②市広報紙による啓発 庁内放送により正午に1分間の黙祷をよびかけ 8/6、8/9、8/15「平和パネル展」の開催(8月に予定) 市役所コミュニティスクエア(ロ ビー)において、市民公募作品の展示及び「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市 民署名コーナーの設置・「羽曳野市平和展」の開催(8月に予定) 市主催事業にお いて、市長公募作品の展示による「羽曳野市平和展」の同時開催 平和行進等へメッセ ージの送付 ③1,098,000円</p>	<p>①人権推進課窓口での署名 コーナーの常設②なし ③人権推進課窓口での署名 コーナーの常設、平和首長会 議ミニのぼりの設置</p>	 <p>①1名 ②避難者専用登録情報システムへの情報登録</p>
太子町	<p>①庁舎窓口付近でのDVD放送・パネル展等検討中②終戦記念日の1分間黙祷③人権 団体に人権啓発事業・平和事業等の事業補助金として807千円</p>	<p>①現状対応なし②現在予定な し③なし</p>	<p>①なし②特になし</p>
河南町	<p>①未実施②小・中学校に対する平和を含めた人権の作文・詩・標語等の募集を行う6月 ～9月「平和を考えるパネル展」8月中旬「平和を考えるビデオ上映」8月中旬「平和を考 える町民の集い」8月末</p>	<p>①未実施②未実施③</p>	<p>①把握していない</p>
千早赤阪村	<p>①なし②非核平和都市宣言懸垂幕の掲出、広報誌による啓蒙活動、平和写真パネル 展の実施 ③予算計上なし</p>	<p>①なし②なし③なし</p>	<p>①2015年4月現在0人②なし</p>
大阪狭山市	<p>①平和のつどい内で戦争体験に関連した舞台表現作品を上演、戦没者名板を設置 し、除幕式を実施②「平和を考える市民のつどい」を開催。8/8(文化会館)、広報誌等 で、6、9、15日に黙とうを呼びかけ③未定(大阪狭山市人権協会の事業費で実施)</p>	<p>①平和のつどい来場者へ署名 のよびかけを検討②なし ③各種イベント時に合わせて啓 発を検討</p>	<p>①なし(2015/5/7現在) ②なし</p>
富田林市	<p>①「平和を考える戦争展」での企画展の充実②広島原爆の日(8/6)、長崎原爆の日 (8/9)、終戦記念日(8/15)に市役所内での黙祷と広報による市民への呼びかけ・小学 生による非核・平和ポスターの取り組み・「第31回平和を考える戦争展」8/7～9(展示) ・企画展「子ども戦争(仮題)(※学童疎開、戦争孤児を中心に)15年戦争・大阪大空 襲と全国の大空襲 広島・長崎原爆についての現物資料とパネル展示、戦時下の大田林 (市民からの戦時品・遺品)折り鶴、ピースアクセサリー、メッセージツールなど、(平和記 念講演会)奥村誠一さん(国民学校と学童疎開を考える会)(映画・人形劇・紙芝居な ど)、「親子平和の旅」8/5～6、8月6日「広島平和記念式典」に市民代表として親子1 組(2人)を派遣、「国民平和行進」の受入れ③2,467千円</p>	<p>①「平和を考える戦争展」来場 者に「核兵器禁止条約」の交渉 開始等を求める署名への協力 をお願いし、集まった署名は平 和首長会議へ送付②参加予定 なし③「平和を考える戦争展」 などを通じて、市民レベルでの 気運を高める啓発活動に取り 組んでいる</p>	<p>①1人 ①関係書類の送付 ・富田林市東日本大震災被災者居住環境改善 助成金によるエアコンの購入</p>
河内長野市	<p>①平和啓発事業として実施・市民まつり5/10にて人権・平和に係る掲示物展示による 啓発 愛いのち・平和展7/24・25(市立市民交流センター)①市内の戦争関連品や写 真、戦時資料の実物展示②折り鶴コーナーや平和メッセージの発信③大阪大空襲の経 験語り部の講演④「すいとん」の試食体験など※平和展終了後、展示した戦時関連資 料等は市役所市民サロンにおいても一部展示を予定。夏休み子ども映画の集い8/29 (市立市民交流センター)平和に関する映画上映を開催、夏休み平和施設見学会8/6 国民平和行進及び反核平和マラソン大会に市長メッセージを送付「広島原爆の日」 (8/6)、「長崎原爆の日」(8/9)「戦没者を追悼し、平和を祈念する日」(8/15)には庁内 放送により正午に1分間の黙とうを実施。また、黙とうのよびかけを広報紙により市民へ 周知。市広報紙における戦後70年特集ページの掲載。④405千円</p>	<p>①平和首長会議に加盟し連動 した活動を行っている ②市長及び住民代表は参加し ていない ③行っていない</p>	<p>①11名 ②定期的に大阪府から送付される「大阪府下避 難者支援団体等連絡協議会のお知らせ」を避 難者に送付している</p>
高石市	<p>①非核・平和に関する写真等パネルの展示②「非核平和都市宣言」啓発塔の常設(庁 舎前)「高石市非核平和展」(忘れないで平和の尊さ)の開催(7/23～7/29)(小学6年生 などから寄せられた「平和ハガキ(約600枚)」の展示、非核・平和に関する写真等パ ネルの展示、平和に関連するビデオの映写、小中学校において実施された戦争の語り部 事業のDVD上映等。懸垂幕「核兵器のない平和な世界をめざそう」の掲出(8月の1ヶ月間) 広報紙(8月号)の人権のページに、非核・平和に関する特集を掲載 関係機関か ら送付されたポスター・チラシ等の掲示・配布。反戦、非核・平和に関するビデオなど視 聴覚教材の貸し出し。平和を祈念し、市職員のみ黙とう(8/6・9)の実施呼びかけ(広報紙 で市民にも「黙とうに協力を」と広く呼びかける)・戦争の語り部事業(小中学校にお いて、語り部による戦時体験の講演会の実施)</p>	<p>①取り組んでいない ②参加していない ③特になし</p>	<p>①5人 ②支援情報リーフレットの転送(月1回)</p>
堺市	<p>①堺市立平和と人権資料館特別展「広島・長崎原爆展」の開催(8/26～9/1)、各区の 区民まつりにおいてパネル展示による人権啓発を実施しているが、本年度は平和パネル を組み入れて展示・啓発、②平和と人権を考える市民のつどい」の参加(7/12)(堺市と 協力して人権活動に取り組んでいる世界人権宣言促進連絡会の主催)「平和と人権 展」の開催8月上旬、「さかいつこ」作文、わたしからの人権メッセージ募集③平和と人権 を尊重するまちづくり条例推進事業費8,208,000円自由都市・堺 平和貢献賞 2,286,000円、平和と人権展2,079,000円平和と人権資料館運営費14,317,000円、世界 人権宣言促進連絡会事業補助金1,212,000円、啓発塔2,500,000円、堺原爆被害者 の会補助金(2団体に交付) 160,000円</p>	<p>①常設展示施設「平和と人権 資料館」で毎年度企画展を開 催。昨年度7月から平和首長会 議加盟都市5000達成記念「原 爆ポスター展」の開催、平和首 長会議の取組の周知。②市長 は現地参加していない③毎年 度発行している館報「ふえにつ すだより」で「核兵器の全面的 廃絶に向けた共同行動を採 択」をトビックスに掲載するな ど、さまざまな機会を通じて市 民の皆様核兵器の脅威を伝え 続けるとともに、核兵器廃絶 の国際的な取組の周知</p>	<p>①東日本大震災による市内避難者は257人(平 成27年5月18日現在)。ただ、避難理由は把握 していない。 ②東日本大震災により被災し当市に避難されて いる方を対象に「東日本大震災被災者サポ ートカード」を発行し、見学施設の入館料等の割引 サービスや各種検診、健康検査、カウンセラー による悩みの相談を実施。</p>

自治体	<p>今年度の非核平和施策 ①戦後・被爆70年の節目の年としての「非核・平和施策」 ②児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策 ③今年度の予算額</p>	<p>NPT再検討会議に関する 施策や内容①平和首長会議呼 びかけの署名への取り組み② NPT再検討会議へ市長や住 民代表等の参加状況③NPT 再検討会議成功に向けての施 策・取り組み</p>	<p>福島原発事故被災者関係 ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難 者は何人おられますか ②福島原発事故被災・避難者に対する対応</p>
和泉市	<p>①例年どおり実施する予定②市民公募による「和泉市人権平和事業実行委員会」と連 携・協働で実施平和千羽鶴展開催に伴う啓発と千羽鶴の公募の呼びかけを5月広報紙 で実施、千羽鶴展は7月初旬から8月下旬の間(今年度は7/3~8/22)、市内公共施設 等に展示平和映画会を8月下旬(今年度は8/22)に実施各小・中学校へ「平和千羽鶴 展」の案内 平和啓発ビデオの購入とその貸し出し市民から寄贈いただいた戦時用品 の貸し出し人権平和市民研修会の開催(戦跡等フィールドワーク等)平和の集いの開 催(講演会・コンサートやパネル展示等)③1,118,000円</p>	<p>①取り組んでいない ②なし ③なし</p>	<p>①28人 ②避難者支援情報(大阪弁護士会とりまとめ)を 月1回郵送</p>
泉大津市	<p>①・例年実施している平和バス見学会について、戦後70周年を機に、多くの若い年齢 層にも戦争についての悲しさを知ってもらうため、対象者を「親子」にして実施、例年実 施しているピースディスカッションについて、平和の大切さを考えてもらうため、小学生を 対象に「すいとん」つくりなどの参加型事業を実施②平和メッセージ展7/10~14(いずみ おおつCITY アルザアトリウム) 平和バス見学会(8/4) 平和パネル展7/30~8/6(泉 大津市役所1階ロビー) 平和パネル展にて「戦没者遺族の会」に一部展示スペースの 提供 ピースディスカッション サイレント吹鳴(8/6・9・15)、平和行進団体へのメッセージ 「非核平和啓発看板」庁舎外壁に掲出、「非核平和柱」などを市内9か所に設置③475 千円</p>	<p>①取り組みなし ②参加なし ③特になし</p>	<p>①4人 ②避難者支援情報(大阪弁護士会とりまとめ)を 月1回郵送 上下水道料金6か月分無料 有料ゴミ袋60枚支給 毛布支給 小・中学校受け入れ</p>
忠岡町	<p>①町民(子ども中心)による平和を象徴したモニュメントの作成②・中学校では沖縄への 修学旅行の前に、平和学習を行っている。・平和行進(町長メッセージ)7月 a)啓発懸垂 幕の掲示 b)街頭啓発(8/14)、c)ピース大阪見学会(8/5) d)非核平和パネル展(8/6~ 8/11)、e)非核平和図書コーナー設置(8/1~8/16) f)終戦記念平和祈念事業(町長メッ セージ、平和の鐘打鐘)8/15③非核平和事業啓発物品代90,000円、ピース大阪見学会 147,000円(バス借上料80,000円、入場料及び高速道路等使用料 67,000円)</p>	<p>①署名予定 ②参加なし ③特になし</p>	<p>①現在を受入なし(平成23年に2世帯4名を受 入、現在はすべて町外に転居)②・子どもの入 園の手続きを簡素化し、迅速に受け入れるよ うにした・人権侵害等の相談については、自治防 災課と人権広報課が連携して行うよう体制を整 えている。</p>
岸和田市	<p>①例年行っている「非核平和資料展」の展示をより充実させたものとする②a子ども平和 映画会6/20(マダカホール)・小学生対象に午前・午後映画を上映。(ぞう列車がやってき きた)・平和関係写真パネルのロビー展示。b平和行進・マラソン湯茶接待(時期未定・市 役所新玄閣) 平和行進・マラソン参加者に対し湯茶接待を行うc巡回平和パネル展 写真パネルを展示し平和啓発を行う。原水爆の恐怖に関するパネル 八木市民セン ター6/9~6/16→春木市民センター6/17~6/25→役所新玄閣6/26~7/6→山直市民 センター7/7~7/17→桜台市民センター(7/18~7/28)→東岸和田センター7/29~ 8/11d非核平和資料展(8/5~8/9自泉会館) 絵本はだしのゲン原画展示、戦時中の 岸和田に関するパネル、原子爆弾に関するパネル、現物資料等を展示し、平和啓発を 行う。また平和に関する講演会、映画の上映や朗読グループによる朗読劇を実施す る予定。e「被爆地・ヒロシマへの平和バス」(7/26~7/27広島市) 市民40人を広島へ派 遣し、広島平和祈念資料館見学、平和祈念公園見学、被爆体験講話聴講、平和ビデ オ視聴を通じ、非核平和に関する研修を行う。f国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館・ 公益財団法人長崎平和推進協会が学校向けに無料で実施しているピースネット事業 (長崎在住の被爆者がインターネットテレビ会議システムを通じて小学校児童に被爆体 験を語る)を、岸和田市立小学校5校を対象に、実施。③平和推進事業2,154,000円</p>	<p>①具体的な取組はしていない ②参加していない③具体的な 取組はしていない。但、毎年実 施している平和啓発事業を継 続して行い、市民に平和の大 切さ、戦争の悲しさを伝えるこ とが重要だと考えている。</p>	<p>①なし ②なし</p> 
貝塚市	<p>①未定②児童、生徒、住民への啓蒙活動・関係機関からのポスターやチラシの掲示・配 布・「貝塚市平和教育基本指針」に基づき、各学校が平和教育に組織的・計画的に取り 組む。小・中学校で夏季休業中に平和登校を実施。小学校は広島、中学校(1校を除 く)は長崎、沖縄への修学旅行で反戦・平和を学習、原爆死没者の慰霊・平和祈念の黙 どう・平和記念像・核兵器廃絶平和宣言都市碑・「平和のともじび」像 草の根運動への 後援・施策、平和行進へのメッセージ・激励・戦争と平和、人権を考えるつどい(不定 期開催)③人権啓発事業と捉えた予算としていることから、本施策に対して、明確に定 めていない</p>	<p>①取り組んでいない ②参加していない ③取り組んでいない</p>	<p>①把握していない ②送付物を案内</p>
熊取町	<p>①・役場庁舎前に被爆アオギリ2世の植樹・被爆ピアノコンサート(8/23)②【後援】第35 回反核・平和のつどい(反核・平和のつどい実行委員会)【施策】・平和パネル・ポスター 展(8/8~8/23)・平和フィールドワーク(8/30予定)・戦没者等合同追悼式(8/23)・例 年、各小中学校において、夏季休業中(8月初旬頃)に平和登校日进行、平和に関す る映像をみたり、講演を聞いたりするなどの平和学習を実施している③・戦没者合同追 悼式関連事業697千円・泉佐野原爆被害者協議会熊取地区会補助金33千円・平和 フィールドワーク160千円・被爆ピアノコンサート・・・人権協会との共催(人権協会予算)</p>	<p>①なし ②なし ③なし</p>	<p>①避難者はいない②現在のところ、対象者の方 がおられないため対応はとっていない</p>
泉佐野市	<p>①なし ②a「平和を考えるつどい(映画会)」(予定)、反戦・平和に関するアニメ映画上 映・広島・長崎原爆パネル展8/6前後に開催予定(泉佐野市立中央図書館) b市広報 への関連記事の掲載、c市内放送での黙祷の呼びかけ8/15 d「第35回反核・平和のつ どい」への後援 ③特になし</p>	<p>①平成24年度に1か月間、市 役所に署名コーナーを設ける などし、集まった署名を平和首 長会議事務局に報告。②なし ③特になし</p>	<p>①0人</p>
田尻町	<p>①なし②平和について考えるパネル展、町立学校における平和学習③0円</p>	<p>①②③なし</p>	<p>①なし ②なし</p>
泉南市	<p>①戦後70年という文言は、催しに使用しているが、内容は特別なものではない②a)非核 平和の集い(8/23)市立文化ホール・平和へのメッセージ展示・映画「望郷の鐘〜満蒙 開拓団の落日〜」の上映(泉南市人権啓発推進協議会等と共催で実施) b)懸垂幕の掲示(8/3~8/28)市役所壁面c)ビデオ上映(8/3~8/14)市役所ロビー 「ちいちゃんのかげおくり」d)非核平和の図書コーナー及び非核平和写真展(8/1~ 8/30)市立図書館e)平和パネル展およびビデオ上映(7/28~8/4)市立青少年セン ター、平和パネル展「大阪大空襲」、ビデオ上映「大阪大空襲 焼き尽くされた大阪の 街」、「おかあちゃんごめんね」③非核平和の集い事業一式262,000円</p>	<p>①取り組んでいない②参加な し③なし</p>	<p>①0人②なし</p>
阪南市	<p>①「平成27年8月3日から6日まで非核平和パネル展を開催」②特になし ③2000円</p>	<p>①未実施 2不参加 ③なし</p>	<p>①0人 ②特になし</p>
岬町	<p>①なし ②町内各小学校(3校)・中学校(1校)で平和学習の実施③0円</p>	<p>①未実施 2不参加 ③なし</p>	<p>①0人 ②なし</p>



(二ページより)
 慌てた菅官房長官は、「違憲ではないという著名な学者もたくさんいる」などと発言しましたが、「それは誰のことですか」「名前を挙げて下さいよ」と、ツツコミを入れたくなります。

弁護士団体が調査したところでは、違憲としてこの法案に反対を表明した憲法学者だけでも一八九人、これに対して合憲派は三、四人と、勝負になりません。

ついには、六月五日、高村正彦自民党副総裁は、「憲法学者はどうしても憲法の字面にこ

だわりすぎる」と文句を言う始末。条文を無視した法律論などはあり得ないわけで、与党は憲法の条文を無視していることを認めてしまいました。

同じ日、中谷防衛大臣に至っては、憲法の解釈を法案に合わせるべきと言いました。憲法が法律に優位し、憲法に反する法律は無効であるという常識すら持ち合わせていないわけで、これまた憲法違反を自認してしまつたのです。

憎悪の対象でしかない憲法については、勉強もなにもしていないのでしよう。

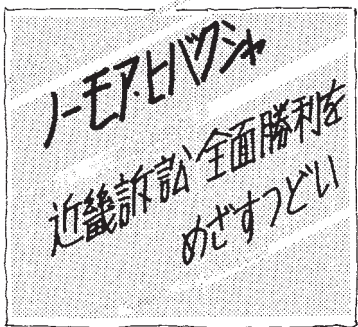
こんな人たちが安全保障を論じ、改憲を主張しているのです。憲法論としては、違憲であると勝負はついていると書きましたが、政治は別です。

憲法を護る意思など全くない、違憲の総合商社のごとき安倍内閣は、数と力で法案成立をゴリ押ししようとしています。

平和を求める力をあわせて、廃案に持つていく強力な運動を展開しなければなりません。

憲法一二条は「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつてこれを保持しなければならない」としていますが、今こそそのときです。

時間はあまり残されていないかもしれないのです。
 (弁護士 中西裕人
 *****)



六月六日に大阪グリーン会館において「ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟全面勝利をめざすつどい」が開催されました。



被爆医師・肥田舜太郎さんビデオレター (原水協提供)

に被爆医師であり、近畿一次訴訟で証言台に立ち、その後の原爆症集団訴訟・ノーモアヒバクシャ訴訟の流れをつくる証言をした肥田舜太郎医師のビデオレター「肥田舜太郎先生インタビュース・ヒバクシャとして、医師として」の上映が行われました。肥田医師からは、多くの被爆者の診察を行ってきたこと、その中でたくさんの方と爆者と直に接してきたことを振り返り、被爆者に対しては原爆被害をもちいらした者からの謝罪を求めていることこそが一番大切なこと

であるとのメッセージが送られました。記念講演は、日本被団協事務局次長の藤森俊希さんによって「被爆七〇年と原爆症認定訴訟」と題して行なわれました。被爆直後から今日までの、被爆者運動の歴史が語られました。被爆者は「自らを救う課題」と「人類の危機を救う課題」の二つを目標に運動をすすめてきたことが紹介されました。そして二〇一五年NPT再検討会議で最終文書が合意されないまま終了したことに関し、日本被団協が直ちに声明を出したことも紹介されました。

講演の後は原爆詩朗読が行われました。多くの方々がじつと目を閉じて朗読を静かに聞き入っていました。



「このゆびとまれ」による原爆詩の朗読 (原水協提供)

その後愛須勝也弁護士事務局長が「ノーモア・ヒバクシャ訴訟の到達点と課題」と題する報告がされました。ノーモアヒバクシャ訴訟の今までの経過と、現在裁判所で係属している訴訟の紹介が行われ、最後に全国原告団副団長である和田文雄さんの決意表明、司会の西兎弁護士からの行動提起を確認して終了しました。

ビデオレターあり、文化行事在り、そして日本被団協事務局次長を迎えて被爆者運動の歴史と現在の課題を報告いただき、楽しくかつ勉強にもなる被爆七〇周年の年に相応しいつどいとなりました。
 (弁護士 豊島達哉)



多くの日本人にとって、パンプキンといえば、ハロウィンの催しに出てくる黄色いかぼちゃのくり抜き(お化けかぼちゃ)のかわいい印象が強い。しかしパンプキン模擬爆弾と称されたのは、リトルポニー(広島)、ファットマン(長崎)に先立って原爆投下訓練用使われた大型五トン爆弾の名前です。

れるのを恐れたアメリカは一九四二年、国家規模で秘密裏に原爆製造計画(マンハッタン計画)を決定、曲折を経て一九四五年七月六日、ニューメキシコ州の砂漠の中のトリニティー実験場で核爆発

の実験に成功。ドイツはその三ヶ月前の五月八日すでに降伏しており、ドイツへの投下の必要性はなくなっていました。第二次世界大戦の日・独・伊の枢軸国のうち残る日本の降伏条件を協議するため

に、米(トルーマン)・英(チャーチル)・ソ(スターリン)の三カ国首脳がベルリン郊外のポツダムに集まっていた時でした。実験成功の知らせは会議開始直前にトルーマンに届き、トルーマンは「ロシアがやってくる前に日本はつぶれる。マンハッタンが日本に姿をあらわせば確実にそうなる」と日記に書いています。ポツダム宣言は七月二十六日発表され日本軍国主義が引き起こした戦争を「世界征服ノ拳ニ出ツルノ過誤ヲ犯セシメタ」としています。トルーマン大統領は、「八月三日以降、天候が許す限り速やかに」原爆を投下せよ、と日本への原爆投下命令をポツダムから下したのでです。

たのが第五〇九混成軍団で、原子爆弾をつくりのパンプキン模擬爆弾(中身は通常爆薬)の投下訓練は米国内ではじまり、六月からテニアン島を中心に本格的に開始され、機体の改良、弾道特性の測定や照準器などの準備を進め、七月二〇日からパンプキン爆弾の投下が始まりました。八月一日までに全国一八都府県で四九発投下(大阪には七月二六日、東住吉区田辺)されました。

「パンプキン投下の真相に迫る全国のつどい」への

期待高まる

◆巨大で精巧な実物大の展示 ◆◆◆

当日は大阪市歴史博物館所蔵の精巧なパンプキン爆弾の実物大模型(直径152センチ 長さ325cm)が会場に展示されます。まるで大型のコンクリートミキサー車のようなようです。大阪では初登場となります。大阪市歴史博物館のご厚意に感謝します。

◆もと保谷市長の都丸さんが参加 ◆◆◆

名古屋市の「ピースあいち」から嘱託学芸員 O・H さんが、また、東京の中島飛行機武蔵製作所(当時北多摩郡保谷町 現西東京市)を目標として投下された地点の「西東京に落とされた模擬原爆の記録を残す会」から、都丸哲也さん(もと保谷市長四期 94歳)が参加されます。

◆パンプキン爆弾投下訓練 ◆◆◆

重さ五トンの巨大な原子爆弾を、B29爆撃機でどう効果的に目標に命中させようとしたのか。その輸送と爆撃投下の特殊任務を担っ

人類史上初の核兵器投下に向けて周到に準備された作戦とその被害の真相を、第一線の研究者が明らかにし、犠牲者を追悼し、核兵器のない世界実現をめざすために行います。

日時:二〇一五年七月一日(土)午後二時〜五時 入場無料
場所:ドーンセンター一階 京阪電車・地下鉄谷町線天満橋駅下車徒歩約五分

2月に行われた当会年次総会での三宅宏司武庫川女子大学名誉教授による記念講演の記録集

「今わかる大阪砲兵工廠の役割とすがた」まもなく完成。▶ 乞うご期待!!

今年の『意見広告ポスター』の受付ははじめます!!

団体 1口3000円 個人 1口 1000円

<問い合わせ・申込み先> 非核の政府を求める大阪の会 (スローガン・デザイン検討中)
TEL: 06-6765-3032 FAX: 06-6765-3033 E-mail:hikaku-osaka1986@niftv.com